

感染予防にご協力いただきありがとうございます。引き続き宜しくお願い致します。



find.

気づきからきずなへ

ホームページをリニューアル!

アクセスはこちらから



「養父市には“はちぶせの里”があるんだよ」と自慢してもらえるような魅力あふれる場でありたい。

わたしたちは、「共に楽しみ、共に喜び、共に生きる施設づくり」を大切にして、ご利用者・ご家族とスタッフがお互いを支えあう風土を目指しています。

高齢者の自立支援に留まらず、養父市の発展に繋がるような地域づくりに参画していきたいと考えています。



- P.2 特別養護老人ホーム
- P.3 ショートステイ
- P.4 居宅介護支援事業所
- P.5 デイサービス
- P.6 グループホーム せきのみや
- P.8 グループホームやぶ
- P.10 小規模多機能ようか
- P.11 コラム八分音符♪ not doing but being

Find 気づきからきずなへ Vol.66

2021年6月15日発行 2005年2月15日創刊 発行人 中野 穰 編集人 松崎 夏奈

発行 社会福祉法人関寿会 〒667-1104 兵庫県養父市尾崎1327番地 TEL.079-667-3107

社会福祉法人
関寿会
SEKIJYUKAI
<https://hachibusenosato.com>



〒667-1104 養父市尾崎1327番地 TEL.079-667-3107 FAX.079-667-3109

〒667-1104 養父市尾崎1319番地 TEL.079-667-3110 FAX.079-663-5800

〒667-0102 養父市十二所819番地 TEL.079-664-2717 FAX.079-664-2718

〒667-0031 養父市八鹿町九鹿138番地 TEL.079-662-6662 FAX.079-662-6663

特別養護老人ホーム

【入居状況】令和3年5月末現在
入居者数 男性：13名 女性：57名
待機者：139名

花見喫茶

春らしい雰囲気の中で喫茶を開催！
雰囲気と美味しいおやつが相まって、楽しいひと
時となりました。



散策

施設外周の散策は季節を感じられる良い機会になっています。



こどもの日



新聞紙で兜作り。
兜には「災いから守ってもらう」という意味が
あるそう。こいのぼりの迫力と兜のおかげで災
いも去って行きそうです！



納涼祭“STARS”中止のお知らせ

例年8月に開催しています納涼祭 STARS ですが、今年度はコロナ禍のため中止致します。
来年度の開催時にはご来場をお待ちしております。よろしくお願い致します。

ショートステイ

利用定員10名

花植え

空中庭園の花壇を華やかに！
花を見に行くという楽しみができました♪



塗り絵

リビングにて塗り絵中。
どんな蝶に変貌するのでしょうか！？



将棋

時間が経つのを忘れて熱中！
勝っても負けても文句なしの、真剣
勝負です。



居宅介護支援事業所

お悩みやご相談などお気軽にお問い合わせください。
受付時間 8:30~17:30

ケアマネ日より

Aさんは、緩和ケア病棟に入院されていました。「家に帰りたい。家で静かに最期を迎えたい」と強く望まれ、ご家族も同じ思いでした。「家に帰ろう」と住み慣れた自宅に戻られました。それを期に、ケアマネとして関わらせて頂きました。入院中は、痛みや倦怠感が強く痛み止めも使用されていましたが自宅では「不思議なくらい痛くないのよ」と笑顔で話されていました。住み慣れた自宅で、好きな物やご家族に囲まれ幸せそうなAさん。ご自宅に帰られて約1か月、ご家族に見守られ安らかに旅立たれました。自分らしく生きたい、そんな思いを大切にできればと思います。

おひとりおひとりの出会いを大切に、ご本人が望まれる事に寄り添い、それが実現できる方法を考えるお手伝いが出来ればと思います。あくまでも、主役は「あなた」です。お気軽にご相談ください。

TSUDOIBA元町家



中国からの技能実習生が、法人内職員や地域でお世話になる皆様にご挨拶を兼ねて、手料理を振る舞いました。
これからよろしくお願い致します。



個人や小グループでの使用については、制限は設けておりません。
お気軽に使って頂ければと思います。



新型コロナウイルス感染状況を確認しながら開催をしています。
参加をご希望の方は事前にお問合せ下さい。

- 日時** 毎月第2火曜日 13:00 ~ 15:00 (8月のみ、第1火曜日)
- 場所** TSUDOIBA元町家
- 対象** 認知症の方とご家族、地域の方
(本人の同伴 OK、他市町の方も参加できます)



〔お問い合わせ/ご利用申し込み〕

TEL 079-667-3107
FAX 079-667-3109

社会福祉法人関寿会
居宅介護支援事業所はちぶせの里
担当: 前田、谷原まで

デイサービス

定員: 30名 休業日: 火曜
営業時間 8:30~17:30
時間延長サービス可能です。ご相談ください。

お花見

グループホームせきのみやま
でお花見に行きました。
ゆっくりと桜を堪能できました。



いちご大福

春の味覚、いちご大福のできあがり!いちごが大きくて包むのが大変でしたが、皆さんが丁寧に仕上げてくださいました♪



生活支援ハウス

生活支援ハウス入居者: 5名
(男性: 3名 女性: 2名)

お花見

鉱山や水辺公園など、関宮方面へお花見巡り。
きれいな桜をじっくりと満喫できました。



グループホームせきのみや

【入居状況】令和3年5月末現在
入居者数 男性:4名 女性:14名 待機者:23名

お花見

今年も庭に桜が咲きました。3月の終わりより満開になり、昼は手作り弁当を食べたり、散歩に行ったり、夜はライトアップを部屋の窓越しに眺めて頂けました。



洗濯物

籠や袋を準備して、干して、たたんで、片付けて。それぞれ出来ることに違いはありますが、自分の持てる力を最大に発揮して、生活の中でのやりがいを感じていただけています。



作品作り

季節感を味わっていただこうと、月ごとに掲示物や飾りなどをコツコツと作成。指先を動かし切ったり貼ったりして、壁飾りや置物を作ります。

取り掛かりは「どうやるんだろう」と顔をしかめて考えながらされていますが、出来上がると嬉しそうに部屋に飾りに行かれます。



散歩

面会や外出が出来ない中、施設周りを散歩するのが楽しみのひとつ。歩行運動機能の維持のためにも、個々に何周するか目標を決めて取り組んでいます。

日差しが強い、綺麗な青空、雨が降りそうな空、心地よい風、強い風、花壇の色とりどりの植物など、自然を身体で感じています。



おやつ作り

手作りおやつはやっぱり一味違います♪味や香りを楽しみながら、作って食べて最高です！



オンライン面会

引き続き、面会を制限させていただいています。

オンライン面会では、ご家族のお顔を見ることができ、皆様とても喜ばれています。

ぜひ、ご活用ください。



ボランティアさんに夏野菜の苗を畑に植えて頂き、テラスのプランターにも花の種を蒔きました。入居者様が心地よく、元気に過ごして頂けるように、季節に合わせて楽しい企画を考えていきたいと思ひます。

管理者 西谷恵里

グループホームやぶ

【入居状況】令和3年5月末現在
入居者数 男性:2名 女性:16名 待機者:12名

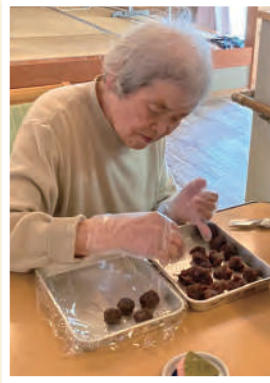
お花見弁当

春の陽気に誘われて、桜の木の下でお弁当をいただきました。今年もきれいに咲きましたよ。



春のお茶会

手作りの桜餅。美味しそうですね？一つ一つ丁寧に仕上げました。桜を見ながら皆でいただきました。



ドライブ外出

和田山方面へドライブ外出。人も少なかったのでゆっくり過ごせました。持参した焼き芋が何より美味しかったです♪



日々の様子

花の水やりや食事の盛り付けなど。それぞれ、皆さんの日課、役割になっています。



ピザ作り

やぶで人気の手作りピザ! 宅配ピザにも負けない美味しさです。



お誕生日会

うれしはずかしお誕生日のお祝い。皆さんに祝福されて照れ笑い。これからもお元気でお過ごしください。



コロナ禍でいつもと勝手が違いますが、入居者様はお元気に過ごされています。春から梅雨へと季節が移ろう中で、庭でお花見弁当を楽しんだり、天気の良い日にはドライブを楽しんでいます。大変な時期ではありますが、入居者様と一緒にわいわい楽しめたらと思います。

管理者 松田 靖則

野菜の苗植え

今年もトマト、きゅうり、万願寺とうがらしを植えました。「大きな一れ」と苗に声をかけ、豊作を願っておられました。収穫が楽しみです！



お花見

天気の良い日に青山地区、関宮地区方面にお花見ドライブ。満開の桜を見て皆さんの笑顔も満開になりました♪

日々の様子

洗濯干しや洗濯たたみ、食器洗い。「なんでもできる事はするで〜。仕事ちょうだい!ちょうだい!」と職員に声をかけてくれます。皆さん、慣れた手つきで仕事が早いです。



一年の折り返しを迎えました。天気の良い日はドライブや日向ぼっこ、野菜作りなど利用者様が心地よく過ごしていただける時間を大切にしています。

大変な時期ではありますが、職員も一緒になってこの季節を楽しめるようにしていきたいと思ひます。

管理者 上垣友佳

日本医師会の生命倫理懇談会の答申に「not doing but being」という言葉が記載されています。「死に直面している患者の願ひとは何か。第1に、自分の孤独さを理解してくれる人がいることである。ケアの源泉に、“Not doing, but being.”という言葉がある。絶望的な状況に置かれている人に何もできなくても、看取る者が話を聞くだけで支えになる。さらに、患者が話をできなくても、看取る者が患者のそばにたたずむだけで、患者が心強く感じることがある」とあります。

私たちのケア現場では、「お看取り」が一つの重要な課題です。お看取りは、高度な緩和ケアが必要な場合を除いて、在宅か福祉施設で行われるのが一般的となりました。でも、課題は山積しています。お看取りの考え方が統一できていないからです。ご本人、ご家族、地域住民は専門的な学びをしていないので当然ですが、医療・福祉の専門職でさえ十分な共通理解ができておらず、いざという時の対応にばらつきがあります。救急隊員、警察等々周辺で関わる公的機関ではなおさらです。

お看取りは人生最後で最大の自己決定と言われます。要するに「自分の死に方は自分で決める」ことを、世の中がどう保障するかということです。まずはこの共有が必要です。

お看取りをするときに、看取る側の葛藤というものがあります。「何もしてあげられない」という無力感です。これはご家族だけでなく、医療・福祉の専門職とて同じです。

お看取りする側として何かできるのか。何もできなくても側にいるだけで、看取られる側は「一人じゃない」と感じることができる。お看取りの原点は、「自分の最後は自分で決める」ことと、「最後まで誰かに側についてもらえる」ことです。まずはここを共有することからお看取りの共通理解がスタートできると考えます。



コラム名の「八分音符」は、楽しいことがあったときに、よく漫画とかで頭の上に浮いている“♪”からつけました。思わず“♪”となるようなコラムにしていきたいと思ひます…

Instagram



第3回はちさとプレゼント企画

応募期間 6月20日(日)～7月4日(日)

応募条件

- ① Instagramの「社会福祉法人関寿会」のアカウントをフォロー。
- ② 期間中の投稿記事にコメントをしてください(絵文字のみは無効)

当選発表

- ① 期間終了後、当選者(1名)へのみ当法人アカウントよりダイレクトメッセージでご連絡します。
- ② 返信期限までに返信をしていただきます。確認後、プレゼント発送のために必要なURLをお送りします。

注意事項

- ・応募は期間中1人1回限りとさせていただきます。
- ・プレゼント受け取りの際に個人情報登録していただく必要がある場合がありますが、当法人には通知されません。
- ・期限までに当選メッセージへの返信がない場合は、当選を辞退したとみなします。

Instagramの他に、フェイスブックやラインも随時更新しています。ぜひ、一度ご覧ください。フォロー&いいね、友達登録もお待ちしております。

おしらせ

プレゼント企画第4弾は12月発行のFind68号で!お楽しみに♪

寄付

ご寄付をいただきありがとうございました

(敬称略) 西岡 正浩…金員

藤林 新一…金員

編集後記

春から初夏にかけて屋外に出る機会も増え、活動の幅が広がってきました。今後も、入居者、利用者の皆様に笑顔でお過ごしいただけるよう、様々な取り組みを行っていきます。

4月より、ホームページをリニューアルしました。ぜひ一度、ご覧ください。

松崎 夏奈